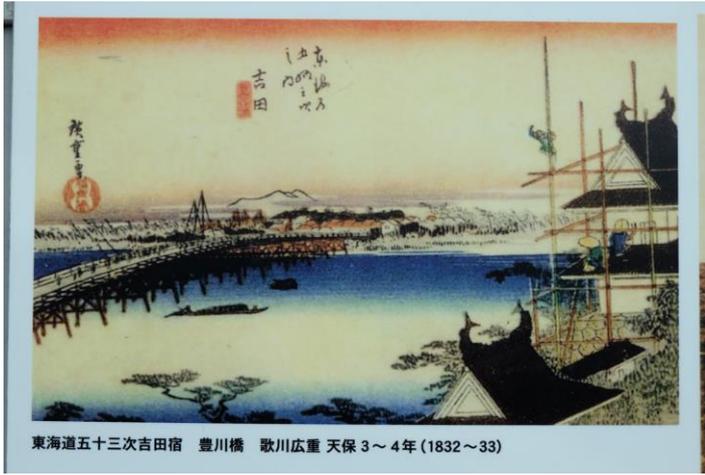


伝統 × □ 技術

# 構成

- 豊橋で感じたもの
- 発見
- キーワード
- 東海道に学生の拠点
- 多様なルート
- 文化の拠点、ものづくりの拠点（学生駐車場）
- 機能の説明
  - (AR, VR, アート、ものづくり、キャンパス⇔東海道)

# 豊橋で感じたもの



東海道五十三次吉田宿 豊川橋 歌川広重 天保3~4年(1832~33)

- 文化
- 歴史
- 食べ物
- 行事



# 豊橋で感じたもの



- 豊川
- 建築
- 東海道
- お城



# 発見

## 地元の住民

- 歴史
- 文化
- 伝統

## ニーズ

- 学生と繋がる機会
- 若者の関心

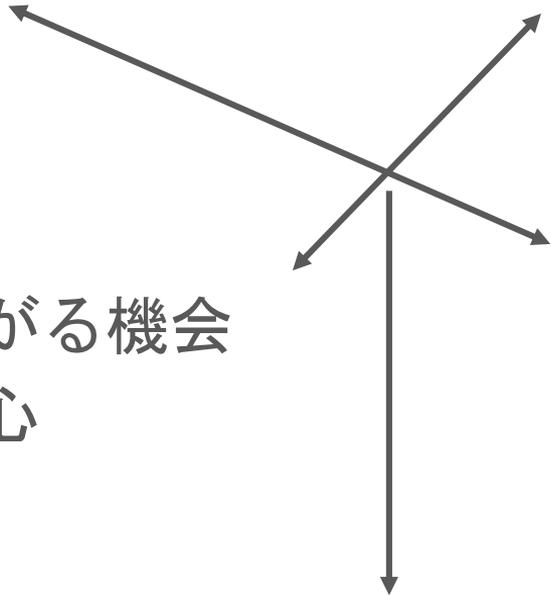
## 地元の学生

- 新しい文化
- 新しい技術
- 新しい情報・知識

## ニーズ

- 東海道へのアクセス
- 中心市街地での活動拠点
- 文化に触れる機会が少ない

新しいライフスタイル



# キーワード

- 感動の交錯
- 活動の機会
- 記憶の共有

# 地元の学生をどう集めるか

- **感動の交錯 — From school to society**

Annually, one school in charge of one story line's Volunteer Event

Local people should tell their own local story well to outside visitors, strengthen sense of participant

Good case, 埼玉県盆栽町盆栽館 is always having volunteer service connection with local high school

**Student organized event, activity, exhibition (Matsuba Park, Miraikan, Temple, Public hall)**

- **活動の機会 Expand new culture market to increase work opportunities**

Workplace — Incubator — Temple // Art Museum // Old store // Old vacant building

Work income — Commercial publicity — Local night market and display

Work category — Students' major to be own business: VR/AR + online selling — fashion + design

**History, Culture, Art + Young Skill @ Tokaido**

- **記憶の共有 — quick, direct and cheap transportation for Southern Part School provide more chances for them to go to town center.**

Two lines which could link through all school should be considered:

A. From TUT

B. From Aichi University

**Every weekend, Self driving bus or minivan (operation support from students)**

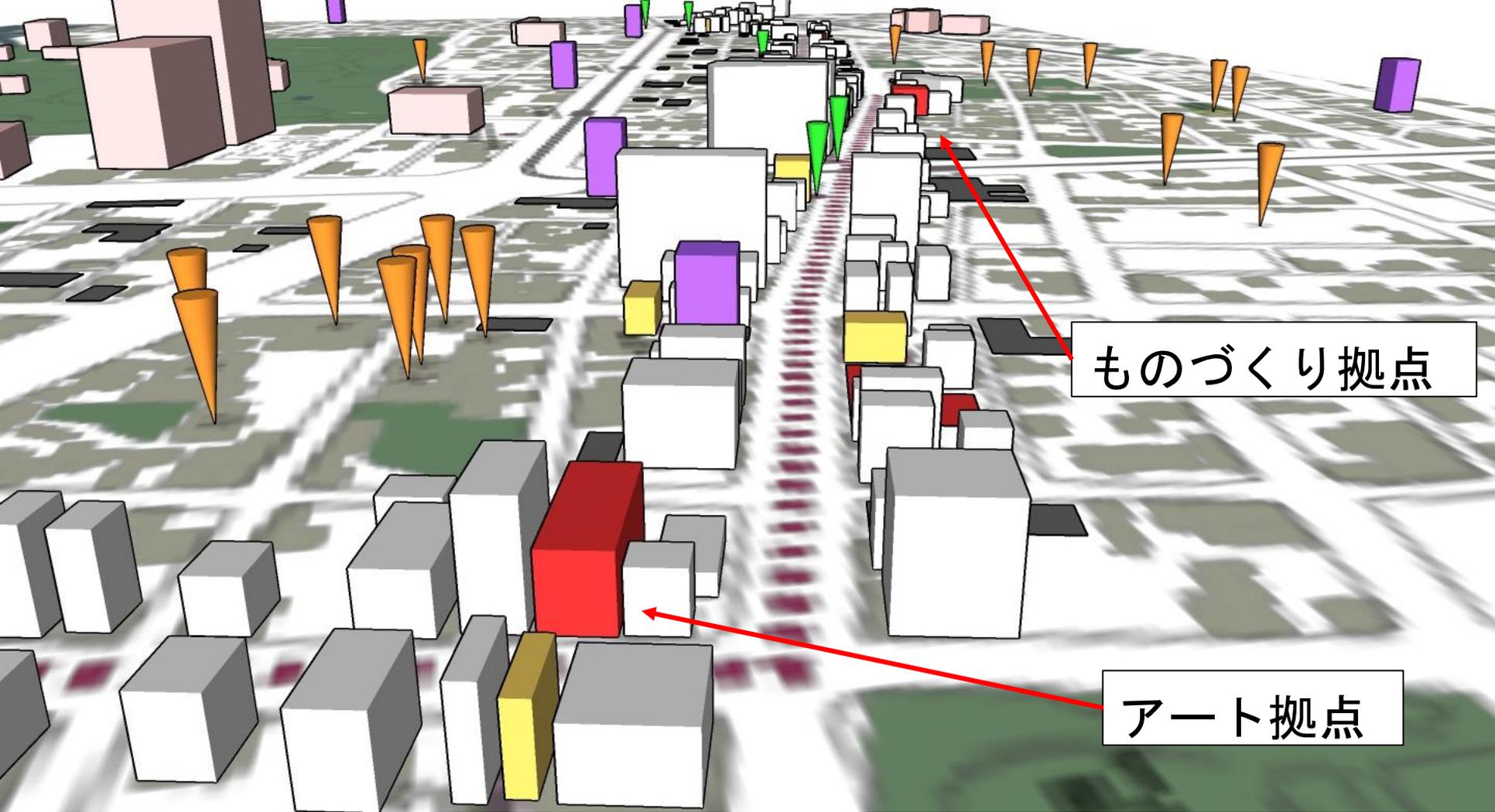
## 学生の拠点

- アート拠点
- ものづくり拠点

豊橋技術大学 9.3km  
愛知大学 5.4km  
豊橋創造大学 4km

提案箇所  
活用する場所  
学校  
老舗  
歴史  
お寺・神社



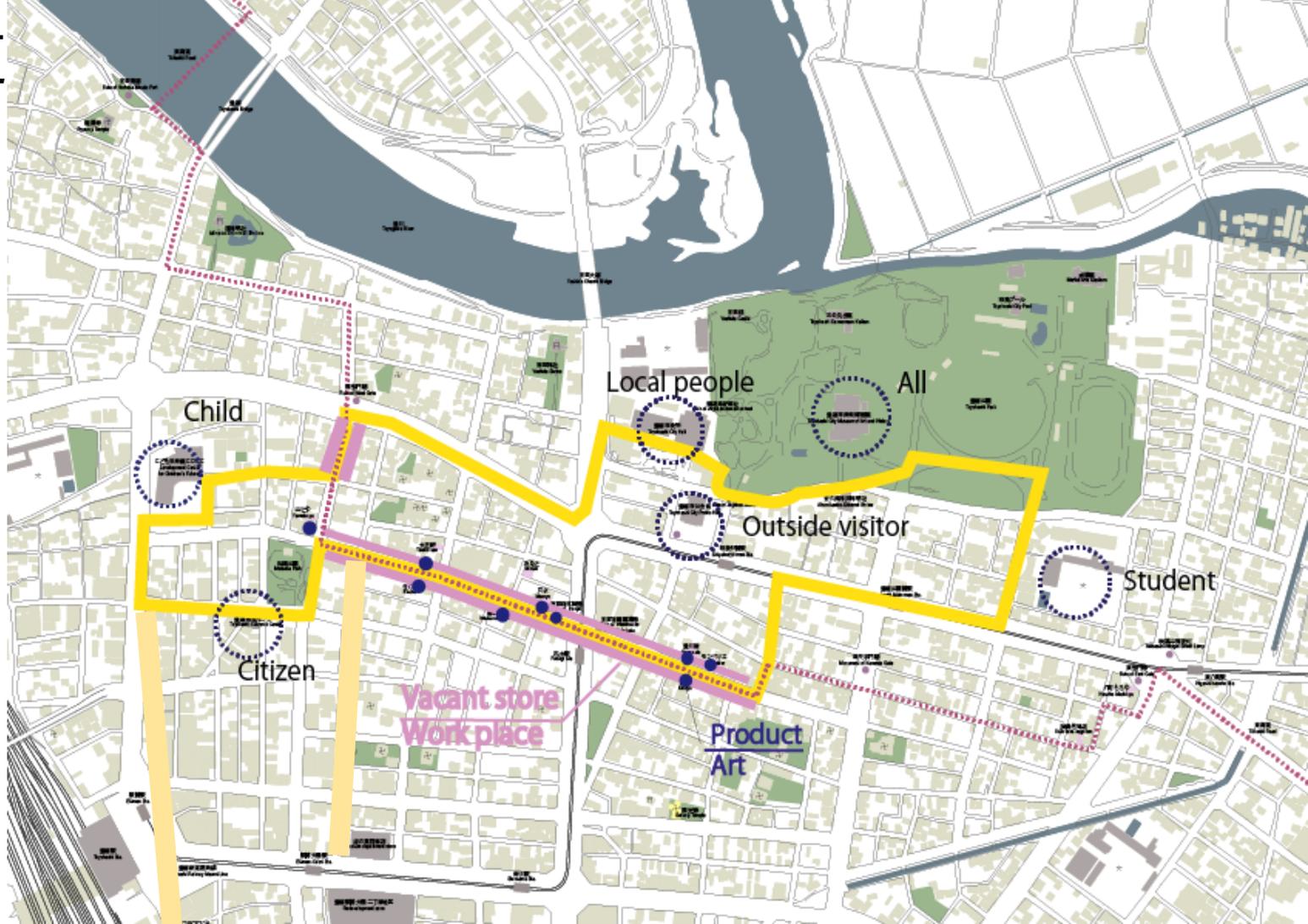


ものづくり拠点

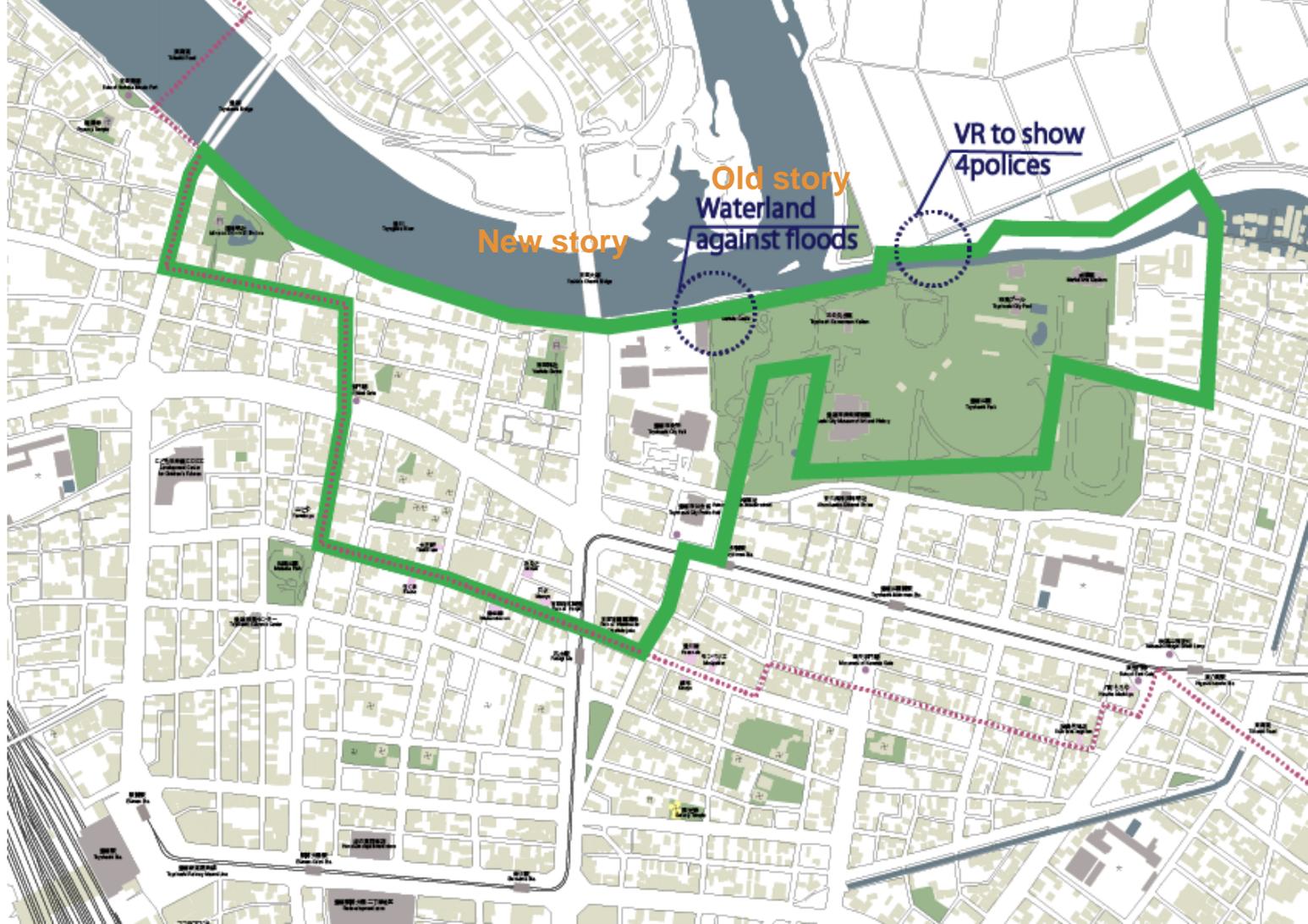
アート拠点



# アートの道



# 安らぎの道



# Old story — four police sacrifice themselves against floods and storm

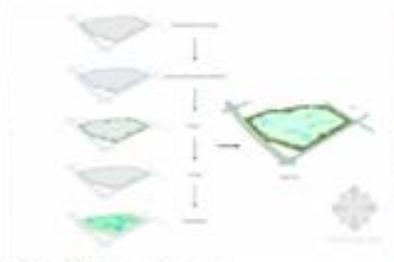


Heartbroken story about what effects to be made to fight against floods and storm



Hard shore  
and less use  
of  
Waterland

# New story — use landscape design with historical site to against floods



中国哈尔滨群力新区湿地公园

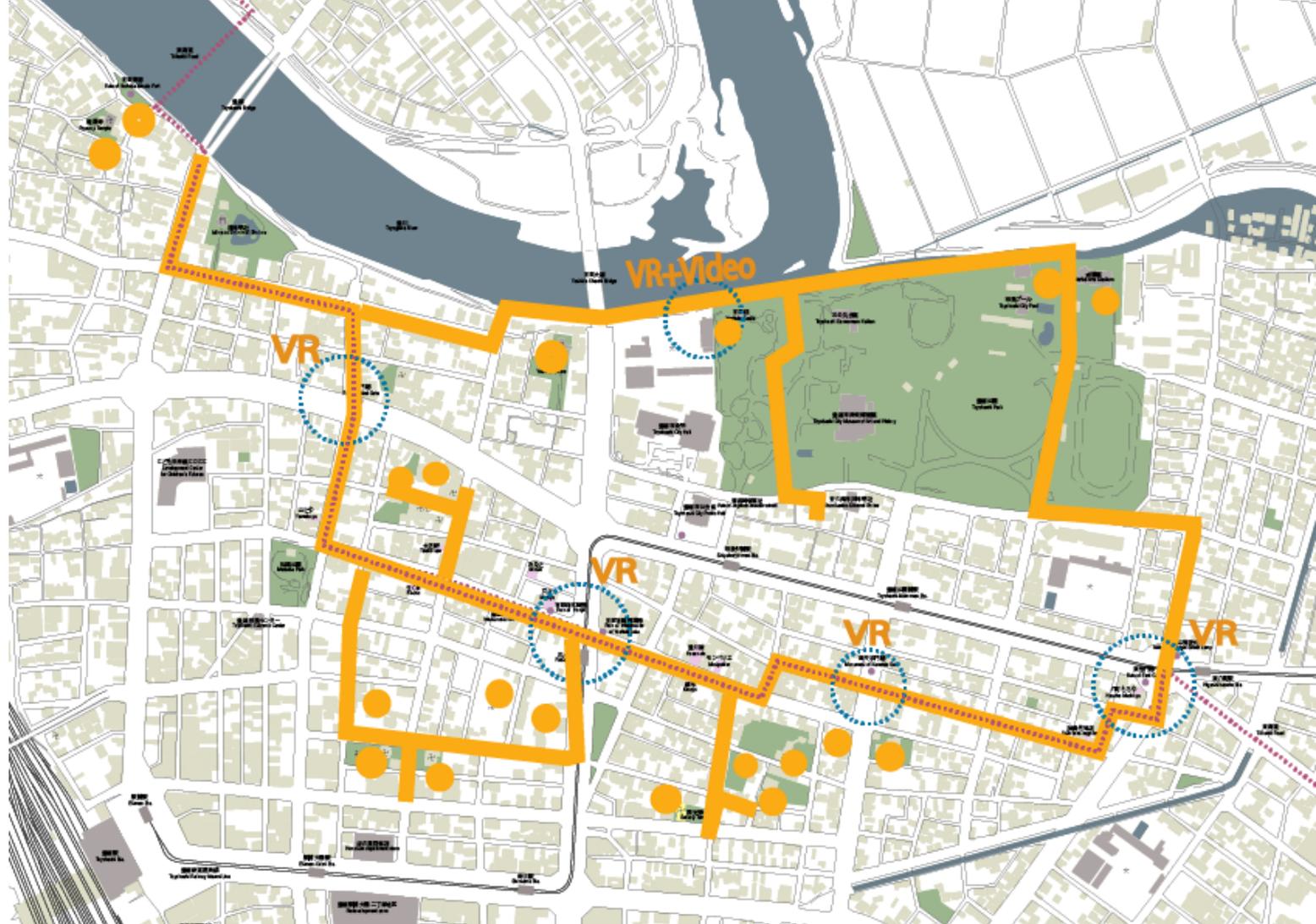
浦阳江生态廊道



Site plan: the gateway of Pu Yangling River, 30 miles long, 40 (30) feet wide. The pre-existing situation and the conceptual masterplan show dramatic transformation. Each a stepped river corridor into a built and connected green infrastructure. (The numbers in the red dots are where the built zones are presented in following pages consecutively)



# 歴史の道





Old  
Scenery  
Which  
Ruining  
Now

# 学生と地域の交流の場の提供

- ・ 現在、東海道筋だけでなく豊橋の駅周辺は学生が根付いているとは言えず、学生が来づらい場所となっている。
- ・ この要因としては、以下のようなことが挙げられる。
  - 学生が溜まれる場所がない
  - 周辺のお店の営業が夜に偏っているのに対しバスが夜遅くまで運行していない
  - 学生が地域に対してあまり関心を持っていない
- ・ これらを解決するために、私たちは、東海道筋に学生が来やすい拠点を提供することで、地域と学生の交流という新しい文化を提案します。

# 学生が自分の作品を展示や販売できる拠点

- ・ 東海道筋だけでなく、豊橋には多くの専門学校があります。そしてその多くがモノづくりに関連しています。 ex,ファッションデザイン、アート、建築etc
- ・ 私たちはこれらの学生が自分たちの作品を地域の住民の方々に対して、展示したり、販売したりできる拠点を提供し、これにより地域と学生の交流の機会をつくれます。
- ・ また、豊橋は市民落語やオーケストラが盛んですので、これらの講演が行えるような場所を学生や地域の企業、市との協力によって制作し、ここでの講演を制作に関わった学生に対して無料で利用できるようにすることで、こちらでも地域と学生の交流をはかります。
- ・ これらのモノに対して、各拠点ごとにARを配置し、これらをSNSと共有します。これにより、ここでの感想を学生や地域の方々が発信することで、拡散され、この地域のことをより多くの方に知っていただける機会を設けます。

# 学生が自分の作品を展示や販売できるものづくりの拠点



- ・ 1階 受付  
展示スペース  
倉庫  
トイレ

- ・ 2階 作業スペース

・ 1階は多くの展示ができ、また自由な空間を作れるように、大きなスペースのみにした。

・ 2階も学生が作業をしたり、寝泊りができるように大きくスペースをとっている。

・ 学生が作り上げていく建物なので、箱のみとし、学生の色が魅せられるようにしている。

# 学生や地域の方が講演をできるアートの拠点



- ・1階 ステージ  
客席  
控えスペース兼倉庫
- ・建物ステージ横には大きめの控えスペースをとっており、倉庫としても使用できる。
- ・いろんな講演に対して対応できるようにステージを少し高くし、幅、奥行ともに大きくとっている。
- ・2種類の建物はそれぞれ宿屋のような外観にしており、宿場町だったことを感じられるようにしている。

- VRによる再現
- ARによる一体感
- 自動運転のバス

# コメント

- 今見えるものと見えないものの復活
- 具体的な話（物件準備して欲しい、100万円あれば何ができるとか）
- アートの拠点はいいですね。イベントとかやってみたい⇒空き家活用
- 昨日の無い街 戦争で9割焼けた
- 広場を貸している。どう拡散すればいいか？、でかいQR
- 道路の断面はどうなる？図面があればもっとよかった。
- 魅力的な人といかに繋がるか？ きっかけを作る。
- ワークショップ、ものづくり体験で学生と交流がある。